

校庭狭しと力走
長島小で運動会



長島小学校の運動会が5月29日、同小校庭で行われました。児童は保護者の熱い声援に応じて元気に競技を披露。長島小伝統の長島ダービーでは、競走馬に扮した3、4年生が抜きつ抜かれつのデットヒートを展開。このほか、チャンスレースやマーチングバンドなど、校庭いっぱいには繰り広げました。



平泉をもっときれいに！
女性団体が清掃奉仕活動

平泉商工会女性部や各種女性団体によるアメニティ道路の清掃活動が6月5日に行われ、60人が小雨交じりの中、草刈りやごみ拾いに汗を流しました。平泉のイメージアップに役立てようと、毎年行っているもの。この日は早朝6時に開始し、駐在所前から中尊寺にかけての国道4号沿い歩道を、約1時間の作業できれいに清掃しました。その後、朝田建設従業員の皆さんによる清掃活動も行われ、きれいな道路へと生まれ変わりました。



五穀豊じょう・家内安全
八雲神社の例大祭

八雲神社の例大祭が6月12日と13日の両日、同神社境内で盛大に開催されました。五穀豊じょうや家内安全などを祈願する同例大祭。今年は滝の沢地区の人たちが担当となり、多彩で華やかな演目を2日間にわたって奉納しました。詰めかけた観客は、出演者の晴れ舞台の数々に盛んな拍手、声援を送り、大にぎわいの祭りとなりました。また会場には出店も連ね、祭りを盛り上げました。

元気はつらつ！
シルバースポーツ大会



「第35回いきいきシルバースポーツ大会」が6月19日、平泉小学校校庭で開催されました。町内の60歳以上の方約300人が参加。ボール送りやゲートボールリレーなど7種目で、若者に負けないぐらいのはつらつプレーで盛り上がりました。大会は長部チームが昨年に引き続き連覇を果たしました。



千葉さんと鳥畑さんに
瑞宝単光章



▶受章を町長に報告する千葉さん



▶受章を町長に報告する鳥畑さん

平成22年春の叙勲が内閣府から発表され、当町から元町消防団第1分団長の千葉速雄さん（13区・消防功労）と元3等陸尉の鳥畑義喜さん（13区・危険業務従事者）が瑞宝単光章を受章しました。千葉さんは昭和35年に消防団に入団し、副分団長、分団長などを歴任。退団まで43年間にわたり人命、財産を守る消防活動に一身をささげられました。鳥畑さんは昭和42年に陸上自衛隊に入隊し、岩手駐屯地第9特科連隊第6大隊などを経て高射特科大隊本部管理中隊管理小隊長を最後に平成15年退職。この間、自衛隊員として、危険と隣り合わせの業務を遂行し、社会に貢献されました。おめでとうございます。

7年間無火災 1区を功労者表彰



▶受賞を町長に報告する阿部区長（左）と高橋分団長

一関市消防本部の消防協力功労者表彰式が5月18日に行われ、地域を挙げて防火活動を展開し、無火災記録を7年間に更新した1区へ感謝状が贈呈されました。同地区は、昨年5月1日から1年間「防火の輪を広めるキャンペーン」の地区指定を受け、地元消防団と婦人消防協力隊が連携し、地域一丸となった自主的な防火運動を展開。同キャンペーンの地区指定を機に、火災予防パトロールや地域住民を対象とした初期消火訓練、救命講習会などを実施。さらに「防災だより」の発行に取り組み、無火災記録の更新に結びつけました。

ただいま特訓中！
介助犬「ラルー」

法律によって認定される介助犬を目指し、全国脊髄損傷者連合会岩手県支部事務局長の山平誠さん（16区）と介助犬ラルー（ラブラドル・レトリバー、雄2歳）が公益法人日本補助犬協会の指導を受けながら、合同訓練に励んでいます。順調にいけば9月に正式な介助犬として認定されます。介助犬は指示に従って物を拾ったり、緊急時に人を呼んだり、手足が不自由な人と生活を共にし、いろいろな場面でお世話をします。平成15年10月に制定された身体障害者補助犬法で認定を受けた補助犬（介助犬、盲導犬、聴導犬）はホテルやスーパーなど公共の場所での同伴が認められています。また定期的なドッグドック（人という人間ドック）により管理されているので、衛生的に

も心配はありません。介助犬は盲導犬に比べ認知度は低く全国で50頭ほど、東北地方でも2頭、県内では1頭のみです。正式に認定されれば県内で2頭目の認定介助犬となります。適性検査により山平さんの生活スタイルに合った介助犬として選ばれたラルーは、現在同協会の指導士を交えた40日間の合同訓練中。その後、ラルーと山平さんだけの自主訓練を行い認定試験に挑みます。山平さんは「今は50%ぐらいの出来。訓練は大変だけど、一緒に生活していると楽しい。ラルーが来てからは早寝早起きになった」とうれしそうに話していました。



介助犬ラルーとパートナーの山平さん